

《担当者名》講師 / 井上 貴翔 ikisho@ 山田 桃子 yamada-m@

【概要】

大学生活や社会生活では、他者との円滑なコミュニケーションが求められる。また、大学生には研究や調査、学習の成果をまとめ、レポートや論文として提出することも求められる。そのいずれにおいても重要となるのが、他者に対して自らの意見や考えを伝えるうえで必須の能力である文章表現力であるが、本講義ではそのための基本的な力 具体的には、文法的、又は慣習的に正しい日本語表現力や文章作法 を学習する。そのうえで、小論文やレポートの基本的作成手順を身につけることを目標とする。

【学修目標】

大学生として必要不可欠になるコミュニケーション能力、特に、言語表現の能力（読解力・要約力・論述力）を身につける。基本的なレポートの作成を正しい手順で行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス / 講義目的と履修上の注意	講義の進め方、到達目標、評価方法を概説できる。	井上 貴翔 山田 桃子
2	日本語表現の基本	文体 / 話し言葉と書き言葉 / 記号の使用法など日本語表記の基本的なルールについて、演習課題を通して理解する	井上 貴翔 山田 桃子
3	曖昧な文章	主語と述語の対応関係や文のねじれ、複数の意味に解釈できてしまう文章などの修正などについて、演習課題を通して理解する	井上 貴翔 山田 桃子
4	Eメールの書き方	Eメールの書式やルール、注意点について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
5	パラグラフ・ライティング(1)	パラグラフ・ライティングの基本について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
6	パラグラフ・ライティング(2)	中心文・支持文・まとめ文について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
7	文章の基本構成	文章の基本的な構成とその重要性について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
8	図表の読み取り	図表の示し方や読み取り方について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
9	論証	論証とは何かについて、そしてその基本的なポイントについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
10	引用のルール	引用のルールについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
11	出典の示し方	出典の示し方について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
12	レポートの基本的な作成手順	レポートの基本的な作成手順について、理解する	井上 貴翔 山田 桃子
13	レポート課題作成	指定されたテーマについて、レポートを作成する	井上 貴翔 山田 桃子
14	レポート課題講評	講義内で作成したレポートの添削とその講評を理解する	井上 貴翔 山田 桃子
15	総まとめ	講義の総まとめについて、理解する	井上 貴翔 山田 桃子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末試験による学習到達度（90％）、講義で課した課題による学習到達度（10％）

【教科書】

毎回、講義時に配付するプリントを用いる。

【参考書】

必要に応じ、講義内で適宜紹介する。

【学修の準備】

予習として、前回の講義内容で不明な点や質問をまとめ、次回の講義に望むこと。（120分）

復習として、返却された課題における誤字や、文法的な誤りについて必ず確認しておくこと。（120分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）